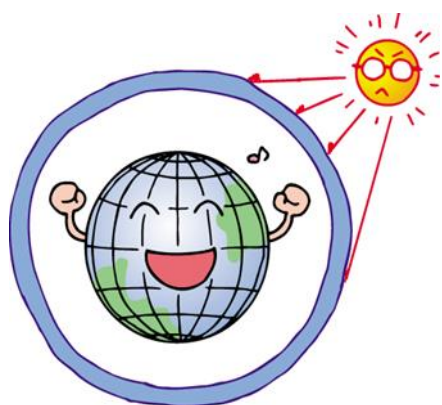




環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和元年9月号（第280号）



9月はオゾン層保護対策推進月間です (P3)



「干潟の生きもの観察会」が開催されました！ (P4)



地球温暖化防止活動推進員の活動の様子 (P5)



愛知県野生生物保護実績発表大会を開催しました (P6)



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



今年度の「あいちの未来クリエイト部」を紹介します



愛知県では、高校生が地域の環境に関する調査・研究を行い、その成果を基に環境学習教材を作成して活用する、環境学習推進事業「あいちの未来クリエイト部」を2017年度から実施しています。

今年度は、次の3校のグループが6月から活動しています。

○愛知教育大学附属高等学校 自然科学部

調査・研究対象：カキツバタ

本グループではこれまでに、鳳来寺山自然科学博物館学術員の中西^{なかにし ただし}さん及び元桜花学園大学客員教授の杉浦^{すぎうら わたる}さんにご協力をいただき、カキツバタ及び周辺の植物や生きものの特徴、その環境等について、カキツバタが群生している小堤西池^{こづつみにしいけ}において調査・研究しました。その際には、カキツバタと植物及び生きものとの関係についても考えました。

今後も専門家への聞き取りや現地での調査を通して、小堤西池のカキツバタ群落の生態やとりまく環境、歴史等について調査・研究をし、カキツバタの保全について考えていきます。



小堤西池での調査

○県立阿久比高等学校 理科部

調査・研究対象：ホタル

本グループではこれまでに、阿久比町建設経済部建設環境課職員^{いしくろ やすひろ}の石黒 泰宏さんにご協力をいただき、ホタルの基礎的な知識についての講義を受けました。また、阿久比町にある、ふれあいの森のホタル養殖場において、ホタルの養殖に必要な道具やえさのあげ方等の具体的な飼育方法について学びました。

今後は、学校周辺の生きもの及び水質調査やホ

タルの保存に配慮した農業を行う農家へのヒアリングを通して、阿久比町にホタルがすむための条件等について考えていきます。



ふれあいの森での調査

○名古屋市立工芸高等学校 防災チーム

調査・研究対象：自然災害

本グループはこれまでに、(一社)SDGs コミュニティ代表理事の新海^{しんかい ようこ} 洋子さんにご協力をいただき、過去の災害や海外の事例を調査し、グループ内で発表しました。また、環境問題は災害とどのようにつながっているのかについて考え、議論しました。

今後は、災害に関する様々な分野の専門家への聞き取り調査を通して、幅広い視点で災害の原因について調査・研究し、災害と自然環境と人との関係において、人はどのように関わりあえばよいかを考えていきます。



自然災害に関して議論する様子

なお、今後の活動の様子については、随時Webページで発信していきます。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/mirai-create-home.html>)

〔 環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン) 〕

9月はオゾン層保護対策推進月間です

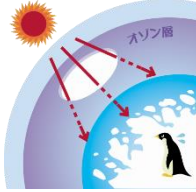


オゾン層とは

地上10～50km上空にある、オゾンが多く存在する大気の層のことをオゾン層といいます。

太陽光には、生物にとって有害な「紫外線」が含まれており、オゾン層は、この紫外線を吸収し、地上を生物がすむことができる環境にしています。

オゾン層が破壊されると、皮膚ガンや白内障が増加したり、生物の免疫力が弱くなったりして、生物の健康に悪い影響を及ぼします。



フロン類とは

フロン類（CFC、HCFC、HFC）は、人体に毒性がない上に、燃えにくく、化学的に安定しており扱いやすいなど多くの利点があるため、エアコンや冷凍・冷蔵庫の冷媒など様々な用途に使われてきました。しかし、フロン類には、大気中に放出されると、オゾン層まで到達してオゾン層を破壊するものや、二酸化炭素の数百倍から数万倍の温室効果があり、地球温暖化に大きな影響を与えるものがあります。

9月はオゾン層保護対策推進月間です

1987年9月16日に「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」が採択されたことにちなみ、毎年9月は「オゾン層保護対策推進月間」と定められています。この月間を契機に、改めてオゾン層保護の重要性を認識するとともに、地球温暖化防止のためにも、次の取組を進めましょう。

★フロン類の回収に協力しましょう

冷蔵庫やエアコンを廃棄する時には、フロン類が大気中に放出されないよう、適切に回収・処理しなくてはなりません。



家電小売店やフロン類充填回収業者に回収を依頼してください。

★点検、修理に努めましょう

使用中の冷蔵庫やエアコンから異音がある、冷えなくなったなど、普段と異なる症状がみられる場合にはフロン類が漏れているおそれがありますので、

早めに専門業者に点検、修理を依頼してください。

なお、フロン排出抑制法では、業務用の冷凍空調機器について、「簡易点検」と「定期点検」が義務付けられています。

★ノンフロン製品を選びましょう

製品の購入時には、フロン類を使っていない製品を選ぶようにしましょう。



フロン類排出抑制対策に関する講習会 ～業者向け～を開催します

愛知県では、フロン類の排出抑制対策について広く学んでいただく「フロン類排出抑制対策に関する講習会」を開催します。

多くの方のご参加をお待ちしています。

- 1 日時 10月15日（火）14:00～16:00
- 2 場所 ウィンクあいち10階 1001会議室
（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）
- 3 内容

講演：「フロン排出抑制法について」

講師：（一社）日本冷凍空調設備工業連合会

事務局次長 ^{おおさわ つとむ} 大沢 勉 氏

- 4 定員・参加費 150名（申込先着順）・無料
- 5 申込方法

- ①社名・団体名 ②所属 ③氏名 ④参加人数
- ⑤連絡先（電話番号、FAX番号、Eメールアドレス）

を記載の上、郵送、FAX又はEメールによりお申込みください。

6 申込先

環境局環境政策部水大気環境課

（〒460-8501 住所記載不要）

FAX：052-961-4025

Eメール：mizutaiki@pref.aichi.lg.jp

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/01furonkosyukai.html>)

〔水大気環境課 大気規制グループ
電話 052-954-6215（ダイヤルイン）〕

「アクション油ヶ淵2019」を開催します



油ヶ淵は、愛知県内唯一の天然湖沼です。この油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、油ヶ淵水質浄化促進協議会※では、9月28日（土）に「アクション油ヶ淵2019」を開催します。参加は無料です。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 1 日時 9月28日（土） 10:00～15:00
- 2 場所 油ヶ淵水辺公園 自然ふれあい生態園
- 3 内容

(1) 体験型講座（事前申込制）

ア 生きものミニビオトープづくり

時間 10:00～12:00

定員 小中学生及びその保護者 40名程度



ミニビオトープ

イ 野鳥観察会

時間 10:00～12:00

定員 20名程度（小学生未満は保護者同伴）

(2) 各種イベントブース

- ア 生きものブース（うなぎつかみ取り、生きものタッチプール）
- イ 工作ブース（オリジナルエコバッグづくり、木のペンダントづくり）
- ウ 学習ブース（油ヶ淵クイズ、水質調査体験、水質浄化実験）
- エ その他ブース（抹茶ワッフル無料試食、モーターボートの展示、動く木のおもちゃの展示等）

詳細はWeb ページ「油ヶ淵電子図書館」をご覧ください。（<https://www.aburagafuchi.jp/>）

※油ヶ淵水質浄化促進協議会

油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。愛知県と油ヶ淵周辺4市（碧南市、安城市、高浜市及び西尾市）で構成。

〔水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）〕

「干潟の生きもの観察会」が開催されました！



7月31日、愛知県が構成員として参加する西三河南部生態系ネットワーク協議会の主催により、「干潟の生きもの観察会」が、西尾市一色町の一色干潟で開催されました。

当日は快晴で天候にも恵まれ、ちょうど夏休み期間ということもあり、小学生等を含む、親子連れなど34名の方々にご参加いただきました。

観察会では、愛知県水産試験場の研究員が講師となって、干潟の生きものに関する説明をした後、干潟に移動して、各々が熊手や網などを使ってハマグリやガザミ、ヒトデ、マテガイ等の干潟の生きもの採取・観察を行いました。



採取・観察の様子

干潟の生きものとふれあうことで、小さなお子さんも夢中になって参加できた観察会となりました。

干潟での採取活動後は、再び講師から、採取した生きものに関する話がありました。

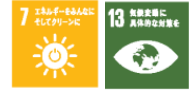
また、アサリを使ったビーカーでの水質浄化実験も行い、子供たちも目を輝かせて楽しみながら、干潟の生きもの働きや大切さについて理解を深めることができました。



水質浄化実験

〔自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229（ダイヤルイン）〕

地球温暖化防止活動推進員の活動を紹介します



1 地球温暖化防止活動推進員とは

地球温暖化防止活動推進員は、地球温暖化対策に関して地域における知識の普及やその推進を図るため、熱意と識見を有する者として、法律に基づき知事が委嘱している専門的人材です。

愛知県では、2019年8月現在159人が委嘱を受け、精力的に活動を行っています。



ブース出展の様子（豊川おいでん祭）

2 地球温暖化防止活動推進員の活動について

① ストップ温暖化教室

県内の小学校等で実施している「ストップ温暖化教室」の講師を務め、クイズや実験などを通して、温暖化について楽しく学ぶ機会を提供しています。昨年度は、3,399名の小学生を対象に教室を実施しました。

② ブース出展

県や市町村等が主催するイベントで、県民へ温暖化防止のためにできる賢い選択を促す「あいちCOOL CHOICE」のブース出展を行っています。

ブースでは、自転車発電やゲーム等を体験できる他、「あいちクール&ウォームシェア」への参加や省エネ家電への買換え等を呼び掛けていますので、興味のある方は以下の問合せ先までご連絡ください。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

2009年以降に太陽光発電で売電している皆様へ



住宅用太陽光発電は、2019年11月以降、順次、再生可能エネルギーの固定価格買取制度による10年間の買取期間が満了します。

期間満了後、太陽光発電で作られた電力は、自家消費をするか、小売電気事業者等に相对・自由契約で売電するかを選択いただくことになります。

自家消費の場合は、昼間に発電して使いきれなかった電力を蓄電池に貯めることで、夜間や災害時等に使用したり、電気自動車等に充電することで、電気自動車等の動力や家庭の電気製品等の電力として使用したりすることができます。

相对・自由契約による売電の場合は、小売電気事業者等と個別に契約し、余剰電力を買い取ってもらうことになります。様々な事業者が買取メニューを公表していますので、ご自身の希望に合うプランを選んでください。

愛知県では、自家消費をする方々に対して、市町村と協調し、家庭用蓄電池や、電気自動車等の蓄電機能を生かす充給電設備（V2H）の導入に補助を行っていますので、ご活用ください。

なお、お住まいの市町村で補助制度を有していない場合には、補助を受けることはできませんので、ご注意ください。市町村の補助状況（[蓄電池] 35/54市町村、[V2H] 21/54市町村）は、県のWebページをご覧ください。

▶▶▶ 愛知県 太陽光 買取期間終了 補助金 **検索**

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/0000004475.html>)

補助申請の詳細は、申請窓口であるお住まいの市町村にお問合せください。

地球温暖化対策課 温暖化対策グループ
電話 052-954-6242（ダイヤルイン）

第49回愛知県野生生物保護実績発表大会

～ 輝く未来のいきものサポーター ～ を開催しました



1 目的

この大会は、学校や団体が行っている野生生物の保護活動等の取組発表を通して、県民の皆さんに野生生物に対する保護思想の普及・啓発と環境保全意識の高揚及び生物多様性の主流化を図ることを目的に開催しています。

2 大会内容

「第49回愛知県野生生物保護実績発表大会」は8月1日、刈谷市産業振興センターにて開催され、県内の野生生物保護等の活動を行っている8団体が、それぞれの取組について発表を行いました。発表では、野鳥やホタルの保全活動、希少種の保全や地域の生物調査など、生物多様性保全を意識した取組や地域の自然特性を活かした取組が紹介されました。

また、取組発表の後には、愛知県獣医師会による「野生生物からの共通感染症について」に関する講義、もりの学舎自然学校のインタープリターによる「つなげよう！人と自然」をテーマとした参加型環境学習の講演がありました。

当日は参加団体を含め、約190名の来場者数があり、児童、生徒の熱意と発信力が感じられる、素晴らしい大会となりました。

この大会を通し、多くの皆さんに愛知の自然や野生生物保護活動への関心をさらに深めていただき、生物多様性の主流化へつながることを願います。

3 審査結果

発表された取組内容について、以下のとおり、各賞を表彰しました。

愛知県知事賞	
岡崎市立 おいだいら 生平小学校	守ろう！野鳥の住む町『生平』
豊田市立 たきわき 滝脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
岡崎市立 みあい 美合小学校	しょうだ 生田ボタルは「美合の宝」
愛知県教育委員会賞	
愛知県立 きそがわ 木曾川高等学校 総合実務部	国の天然記念物「木曾川のイタセンバラ」の保護につながる活動～「イタセンバラかるた」で小学生に保護の大切さを伝える～
岡崎市立 かわい 河合中学校	河合の自然を守る -部活動、全校生徒、地域保存会の連携を通して-
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	
さくらがおか 桜丘高等学校 生物部	石巻山のカタツムリ調査・リーフレットを通じての保護活動
愛知県獣医師会賞	
岡崎市立 とうかい 東海中学校	未来へつなぐ ^{たすき} 襷 ～東海の生き物を次代につなぐ～
春日井市立 ひがしたかもりだい 東高森台小学校	学校付近の自然とその移り変わり

4 今後の予定

本大会で優秀な成績を収めた団体については、11月下旬に開催予定の「全国野生生物保護実績発表大会」に推薦する予定です。



生平小学校による発表



滝脇小学校による発表



美合小学校による発表



木曾川高等学校による発表



知事賞受賞者

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

1 9月の天候の見通し

今年の夏は梅雨明け後、一気に気温が上昇して、体が暑さに慣れておらず、熱中症で医療機関へ搬送される方が多発しました。

名古屋地方気象台の予報では、9月に入っても、平均気温は平年並か高い見込みである他、低気圧と高気圧が交互に通過し、数日の周期で変わりやすい天候であると予測しています。

2 台風による水害と頻度

9月は、過去に台風による大きな水害をもたらした月でもあります。

1959年9月に起きた「伊勢湾台風」では、当時の最高潮位を1m近く上回る3.55mの高潮が伊勢湾奥部の低地の市街を襲い、死者・行方不明者数5,098名に及ぶ大惨事となりました。

また、台風本体の雨雲だけでなく、本州付近にある秋雨前線も、台風による暖かく湿った空気が原因で活発化することがあるため注意が必要です。

2000年9月の「東海豪雨」では、台風14号が南大東島の南南東に位置する頃から前線の活動が活発となり、愛知県内の床上浸水だけでも22,000棟以上の大水害となりました。

東海地方への台風を月別に調査してみると、9月は平成の30年間で、最も接近数が多い月となっています(図1)。

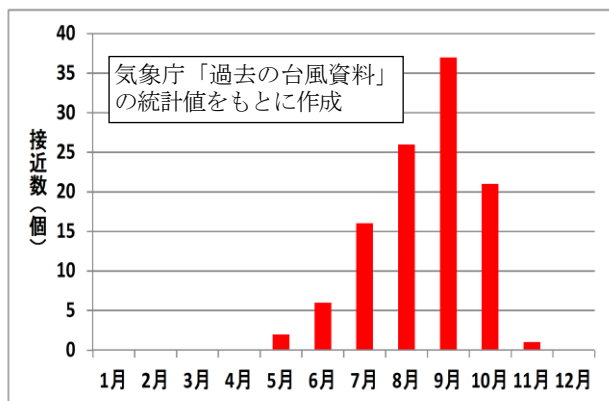


図1 平成における台風接近数(月別・東海地方)
気象庁による台風の将来予測では、地球温暖化に

伴い、台風などの非常に強い熱帯低気圧の数は増え、雨も強くなる傾向があると予測されています。

今年は「伊勢湾台風」からちょうど60年であり、過去の災害を教訓として、日ごろから大雨や水害への備えをすることが重要です。

3 水防テレメータシステムによる情報提供

愛知県では、大雨や洪水による水害への備えとして、県内の雨量・水位・潮位を監視するシステム「水防テレメータシステム」を運用しています。

このシステムを用いて、県内に設置された58の雨量局、93の水位局、8の潮位局、54のカメラ画像を活用し、リアルタイムで川の防災情報を県民の方へ提供しています。

他にも「みずから守る防災情報メールサービス」による、水害時の住民の安全・安心に繋がる防災情報を配信していますので、詳細は下のQRコードからリンク先をご覧ください。



愛知県
川の防災情報ページ



愛知県
みずから守る防災情報
メールサービス

4 備蓄食料と食品ロス

大きな災害が発生すると物流機能が停止し、食品が手に入りにくくなることが多く、これに備えた食品の備蓄は欠かせません。

備蓄食料については、定期的(1か月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足す「ローリングストック法」を実践すれば、賞味期限が経過して廃棄される食品などを減らし、いわゆる「食品ロス」を減らすこととなります。

これは食品廃棄に至るまでのエネルギー使用に伴い発生する温室効果ガスを削減すること(緩和策)になりますので、日ごろから備蓄食料の確認を怠らないようにしましょう。

〔 環境調査センター 企画情報部
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン) 〕

「産業廃棄物処理業者優良化セミナー」を開催します



愛知県では、「優良産業廃棄物処理業者認定制度」の普及を図るため、(一社)愛知県産業廃棄物協会と連携して、産業廃棄物処理業者優良化セミナーを2011年度から開催しています。

今年度も下記のとおり開催しますので、特に優良認定を希望する産業廃棄物処理業者の皆様は、ぜひご参加ください。

※優良産業廃棄物処理業者認定制度とは

排出者が、優良な産業廃棄物処理業者に産業廃棄物の処理を委託することを促進するため、通常の許可基準よりも厳しい基準を達成した産業廃棄物処理業者を都道府県等が、優良産廃処理業者として認定する制度です。

<認定事業者のメリット>

①許可証等を活用したPR ②産業廃棄物処理業の許可の有効期間の延長(通常5年→7年) ③国等が行う契約での有利な取扱い

【PRステッカー】



※本県では、県内政令市及び(一社)愛知県産業廃棄物協会と連携し、優良認定業者であることが一目でわかるPR用ステッカーを作成・販売しています。

1 日時及び場所

<尾張会場>

10月1日(火)、11月26日(火) 13:30~16:00

愛知県三の丸庁舎 8階 大会議室
(名古屋市中区三の丸二丁目6番1号)

<三河会場>

10月28日(月) 13:30~16:00
愛知県西三河総合庁舎 10階 大会議室
(岡崎市明大寺本町1丁目4)

2 主な内容

- ① 優良産業廃棄物処理業者認定制度について
- ② エコアクション21認証取得について
- ③ 電子マニフェストの仕組みと運用について等

3 参加費

無料

4 対象者

(特別管理)産業廃棄物収集運搬、処分業者

5 申込方法

下記アドレスからダウンロードした申込書に必要事項を記載の上、9月20日(金)までに下記申込先へFAXでお申し込みください。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/0020191001.html>)

※(一社)愛知県産業廃棄物協会の会員につきましては協会から送付された申込書を使用してください。

6 申込先

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会

FAX:052-322-0136

〔資源循環推進課 産業廃棄物グループ〕
電話 052-954-6235 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
令和元年9月2日発行(第280号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市中区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

今年も暑い夏が到来し、連日、テレビで高校野球が中継されていました。愛知県の東邦高校が優勝した春の選抜高校野球大会では、啓新高校(福井)の応援団が、甲子園のアルプス席で清掃活動を行い話題となりました。

球場関係者も「ゴミ袋を持ち帰るところまで本当に素晴らしい行動でした」とコメントしています。グラウンド以外でもこうした話題が聞けるのは喜ばしい限りです。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。